

グループ討議	事前課題	特別な持ち物
なし	なし	なし

「定年退職・再雇用・賃金処遇」対応実務講座

～定年再雇用に関する雇用や処遇の在り方、年金制度や社会保険等の手続を1日で学ぶ～

講座時間

10:00～16:30 (1日間)

講師名

トムズコンサルタント 代表社員 特定社会保険労務士 小宮 弘子 氏

対象

経営者・経営幹部、人事・総務担当者の方

ねらい

総人口の減少と少子高齢化による人材確保が企業の経営課題となり、高齢者の活躍推進は重要な取組みとされています。一方で定年再雇用者の処遇は同一労働同一賃金により、その処遇の在り方が問われています。

本講座では、定年退職や再雇用ならではの各種保険の制度や手続、年金制度の概要、実務上のポイントについて、定年の年齢に応じて具体的に解説します。また、定年再雇用者の賃金等の処遇について、重要判例等を踏まえ、どのように対応するべきなのかについても説明します。

講座カリキュラム

1. 高齢者雇用に関する法対応ポイント
 - (1) 65歳までの雇用確保措置 (義務)
 - (2) 70歳までの就業確保措置 (努力義務)
2. 知っておくべき社会保険制度の仕組み
 - (1) 社会保険制度の全体像
 - (2) 加入できる人・できない人
3. 年金制度の仕組み
 - (1) 年金制度の全体像
 - (2) 老齢基礎年金と老齢厚生年金
 - (3) 在職老齢年金の仕組み (65歳前後、70歳以上)
4. 定年退職者の実務
 - (1) 社員が知りたいこととは
 - (2) 退職後の医療保険の選択肢と必要な手続
 - (3) 失業給付の概要と定年退職等ならではのポイント
5. 再雇用者の実務
 - (1) 定年再雇用と社会保険料
 - (2) 給与が変更になる場合の手続
 - (3) 高齢者雇用継続給付の仕組みと手続
 - (4) 在職老齢年金と高齢者雇用継続給付の調整
 - (5) 各保険制度と年齢別のポイント
6. 高齢者雇用と同一労働同一賃金
 - (1) 定年再雇用者の処遇と同一労働同一賃金の重要判例
 - (2) 定年再雇用者の雇用の在り方 (どのように活躍してもらうのか)
 - (3) 定年再雇用者の賃金を設計する場合の留意点 (何を考慮して賃金を決めるのか)
 - (4) 賃金以外の処遇を決める場合の留意点
 - (5) 定年年齢の見直しと同一労働同一賃金
 - (6) 高齢者雇用と人事制度
7. 有期雇用者としての高齢者雇用の留意点
 - (1) 定年から再雇用決定までの運用
 - ①再雇用を拒否できるか
 - ②定年時に休職中の場合
 - ③提示する労働条件と説明内容等
 - (2) 再雇用後の雇止めや契約解除
 - (3) 再雇用と5年超無期転換
8. 高齢者雇用と労災
 - (1) 増えている高齢者の業務上災害
 - (2) ケガや健康リスクへの対応